

支援プログラム

作成日 2026年3月17日

法人(事業所)理念		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健やかな成長を願い、一人一人の個性を大切にし、保護者と一緒に子どもへの関わり方を考えていく。 ・専門的な視点から発達を促していく。 		
支援方針		発達に応じたグループ編成をして、個々にあった支援とともに、集団療育を通して子ども同士が刺激を受け合いながら、人との関わりの中で心地よさややり取りを深めていく。		
営業時間		木馬園:9:00~15:00 併行通園:15:30~16:45	送迎の有無	希望者のみバス送迎あり(保護者同伴での利用) *木馬園のみ
支援内容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、排泄、着脱、睡眠、歯磨き、片付けなど、身の回りのことを自分でしようとする力を育てる。 ・それぞれの状態に合わせて必要となればリハビリを行い、姿勢、運動、日常生活動作、口腔機能などの向上を図る。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・リトミックやリズム体操、戸板登り、トランポリン、マット、ボールなどの体育遊びや散歩など、様々な遊びや活動を通して、支援者が意欲的に参加したり、しっかり遊んだりする中で、子どもの“やってみたい”意欲を引き出し、自分から向かえるような環境を作る。 ・身体を動かすことを通して、“できた”手応えを感じられるようにしながら、体幹を鍛えたり、バランス感覚を身につけたりすることで、身体づくりにつながるようにする。 ・片栗粉や小麦粉などを使用した遊び、新聞やぶりなどの感触、感覚遊びの中で、五感に刺激を受ける経験を重ね、個々に好きな感覚を満たしながら気持ちを発散したり、握る、引っ張る、細かくちぎるなど指先をしっかり使い、手指の力をつけたりできるようにする。 		
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝の会のお名前呼びや集団の中での関わりを通して、自分の名前を認識したり、相手や話しかけられていることに興味を示したりできるようにする。 ・自分の気持ちを周りへ向けて表出する手段(声、ジェスチャー、指さし、絵カードなど)を知らせて、経験を積み重ねていけるようにする。 ・言葉のリズムなどを楽しみながら、言葉を身近に感じられるように絵本やペープサートの読み聞かせをする。 ・絵本の登場人物と実物が一致できる経験(虫探しをして、まねっこやつもり・ごっこ遊びにつなげるなど)を通して、語彙を増やしたり、やりとりの楽しさを味わったりして、世界観を広げられるようにする。 		
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・人と関わる心地よさを感じたり、やりとりしたりする中で、伝えたいことや気持ちを人に共感されながら、相手を感じ、心を通わせる経験を積めるようにする。 ・それぞれの特性に応じた視覚的支え(足型、矢印、スケジュール、写真、絵カードなど)をもとに、約束事やルールを知らせ、社会性を身につけていけるようにする。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びで身体を使う中で、自分の身体や人や物との距離感を感じたり、自分の身体の部位を知ったりできるようにしていく。 ・毎日の生活経験を通して、数、色、物の概念、文字などへの興味を深められるようにする。 		

<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の姿や親子保育での様子を共有し、発達の育ちを伝えながら関わりを助言し、保護者とともに子どもの成長を促していく。 ・集団の中での姿や目指すところをグループ懇談会で伝えたり、保護者同士の交流の場を作っていく。 ・進路懇談を通して、発達面と子どもの思い、保護者の考えを共有しながら、方向性を共に考える。 ・家庭での悩み（本見やきょうだい児への向き合い方など）を聞きながら、気持ちに寄り添ったり、一緒に考えたりする。 ・子育て教室で、各種制度に関する情報提供や、発達支援に関わる各専門職からの日々の子育てに役立つ話などを発信していく。 ・『はぐノート(サポートブック)の会』を設けて、成長や発達に関する情報を保護者と共有し、一貫した支援を提供できるようにする。 ・『ペアレントプログラム講座』を開催し、保護者が子どもとのより良い関わり方を学びながら、日常の困りごとなどを解消し、楽しく子育てができるように支援する。 ・『延長保育』を行い、療育終了後、就労または諸事情により保護者が家庭での保育が困難な場合、延長保育を実施することで、保護者の子育てを支援する。 ＊その他、必要に応じて随時対応する。 	<p>移行支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路懇談を通して、発達面と子どもの思い、保護者の考えを共有しながら、方向性を共に考える。 ・こども園、小学校との会議や引き継ぎを行い、心身の状況や保護者の思いなどの情報提供をする。 ・こども園との交流をして、生活年齢の発達面を知らせたり、今後目指すところを共有したりする。 ・小学校体験へ同行し、安心して移行できるようにする。
<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所との連携 ・市内通所支援事業所連絡会や研修会などでの情報共有 ・保健師や医療機関との連携 ・併用利用先の事業所との連携 ・所属園との連携(併行通園) 	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム検討会の実施 ・センター内での定期的な学習会の実施 ・外部研修会への参加
<p>主な行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プール開き、夕涼み会、運動会、園外保育、クリスマス会、卒園式、誕生会(毎月)、親子保育、親子スイミング 		